資料２

第４回道南いさりび鉄道沿線地域協議会 開催結果

１ 会議概要

（1）日 時

令和5年11月17日（金） 10:00～10:30

（2）場 所

函館北洋ビル 8階小ホール（函館市）

（3）出席者

沿線市町：函館市 佐藤副市長、北斗市 工藤副市長、木古内町 鈴木町長
道 ：総合政策部交通政策局 斎藤鉄道担当局長
ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ：道南いさりび鉄道(株) 川越代表取締役社長、渡島総合振興局 西本副局長

２ 主な内容

○ 報告事項

①北海道道南地域（五稜郭・木古内間）並行在来線経営計画に基づく検証について

検証結果（第3回協議会（R5.9.11）において承認済）についての報告

○ 協議事項

①道南いさりび鉄道への臨時支援について

経営計画に基づく検証結果を踏まえ、鉄道の安全・安定運行を図るために必要な設備等の整備事業に対し、道及び沿線市町による支援を行うことで、令和7年度までの安定的な鉄道運行の維持を最優先とすることを確認（道では、令和5年3定補正予算で計上済み）。

②道南いさりび鉄道 第2次経営計画の策定に向けた方向性について

道南いさりび鉄道から、第2次経営計画の策定に向けた考え方を聴取し、沿線2市1町の受け止めと方向性について確認した。

◇ 道南いさりび鉄道の考え方

・現経営計画が令和7年までのため、令和8年度以降の第2次経営計画の策定が必要
・第2次経営計画は、令和8年度～令和12年度までの5年間の計画とし、策定に当たっては、収支改善の取組を踏まえた収支予測を実施

◇ 沿線市町の主な意見

・ 次期経営計画の策定は必要不可欠。今後の収支改善の取組などを踏まえ、安全かつ安定的な運行を念頭に策定いただきたい。（函館市）
・ 当面の運行維持を念頭に協議が進められることは有意義な方向。鉄路に並行した路線バスも生活を支えており、様々な観点から地域の公共交通のあり方を含めて議論が必要。（北斗市）
・ 高校のない当町においては、生活路線として非常に重要な路線。鉄道を活かしたより良い道南の未来に貢献するためにも、当面の鉄道運行維持を念頭に検討したい。（木古内町）

３ 協議結果

協議会として、道南いさりび鉄道から示された第2次経営計画の策定に向けた会社の検討状況を踏まえ、令和5年度末を目途に今後の方向性を判断することを確認。

４ 今後の進め方

今回の協議結果を踏まえ、年度末を目途に関係者による実務的な協議・検討を進める。